

令和元年（2019年）9月6日
政策会議
都市計画部計画調整室

上の川周辺まちづくりについて

歩行空間不足をはじめとする地域課題の解決及びみどりのネットワーク軸の延伸等を目的とし、上の川を暗渠化することにより創出される空間を活用した遊歩道の整備等、上の川周辺まちづくりを推進しようとするものです。

1 経 過

本地区は大正末期の北大阪電気鉄道（現阪急電鉄）の開通に伴う開発により、郊外住宅地として開発され、閑静な住宅街として発展してきました。豊津駅から関大前駅へ向かう府道吹田箕面線の特に狭あいな300m区間は、歩行空間を含めたみどりのネットワーク軸の延伸などの課題があるものの、鉄道・河川・道路が並走するほか、府道沿いは既に住宅地となっているため用地確保が困難となっていました。

こうした中、平成30年（2018年）8月17日開催の企画会議において、上の川の暗渠化等により創出される上部空間を活用したまちづくりについて、本市が主体となって検討を進める方針を確認し、大阪府をはじめとする関係者のほか市内関係部局と協議を行ってきたところです。

2 事業概要

上の川沿いの府道吹田箕面線の歩行空間が特に狭あいな豊津駅以北約300m区間において、上の川を暗渠化し、遊歩道等の整備を行います。

3 概算費用

下記表のとおり、国の交付金を活用しながら大阪府と連携して費用を負担します。

費用負担	金額（億円）
国（交付金）	約 8.3
吹田市	約 10.1
大阪府	約 11.4
合計	約 29.8

※ 現時点での想定費用であり、詳細設計や施工方法の決定等により増減する可能性があります。

4 事業スケジュール（案）

	R2	R3	R4	R5	R6
詳細設計	■				
基盤整備（河川暗渠化）		■			
上面整備（遊歩道・道路）					■

5 位置図



6 整備イメージ

